

～下記の研究を行います～

『頸動脈狭窄症に対する外科的治療の 有効性と安全性に関する研究』

【研究責任者】脳神経外科 井筒伸之

【研究の目的】

頸動脈狭窄症に対する外科的治療は技術進歩と手術器具の発達により、その選択肢は多様化しています。新規治療法には従来の治療法と比較して優れた面も多くありますが、従来の治療法がより適した患者さんも存在します。適切な治療方法の選択が治療成績の向上には必要です。

本研究の目的は当院で実施した頸動脈狭窄症に対する外科的治療について検証することで、最適な頸動脈狭窄症治療の選択方法について解明することです。

【研究の期間】研究許可日～2026年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015年1月1日から2025年12月31日までに当院で頸動脈狭窄症に対する外科的治療を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：診療録から以下の情報を収集します。

年齢、性別、治療対象疾患、併存症、身体所見、血液検査、CT画像、MRI画像、脳血管撮影画像、手術記録、治療内容など

【情報等収集開始日】2024年8月13日

【情報等の管理責任者の氏名】国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の患者さんの個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。が、あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 脳神経外科 医師 井筒伸之